

スプリンクラー工事ができない

予算折り合わず業者が決まらない

ここにもアベノミクス負の側面

消防法の改正によって、グループホームにもスプリンクラーの設置が義務付けられました。昴では、長期契約ができない(耐震基準)「すまいるA,B」及び近く退去し移転予定の「ユニコーポ」を除く、他の7か所のグループホームに、スプリンクラーの設置を計画し、国補助金を申請し、その助成を受けることが決まっていた。

しかし、施工業者を選定する「入札」で、どの業者も昴が設定した(つまり、補助金の算出基準になる)額を大幅に超過し、施工業者を決めることができませんでした。その後の調整で一部の工事は始められることになりましたが、その他は「入札」を改めて行うことになっています。業者が提出する工事予定額が大幅に予算を超える理由は、近頃の「工費の高騰」にあります。資材も人件費も上がり、業者側も価格を上げざるを得ないといえます。

実際、こうした事情のために、復興を急ぐ東北でも工事に着手できず(多くの現場で入札が流れてしまう)、復興予算の1/3が使われず、今年度末には総額10兆円が執行できず残って積み上がるというような事態になっているようです。

こうした建築費の高騰は安倍政権が公共工事のばらまきを手段に「景気回復」を図る財政姿勢が原因だと指摘されることがあります。確かに6年後の東京オリンピックも決まり建築業界はウハウハで、大して「儲からぬ」被災地の工事から人手もどんどん吸い上げているようです。

昴のスプリンクラー工事は今年度分で、総額3500万円を超える程度の小規模なものですが、「アベノミクス」の副作用がこんなところにも及んでいるのでしょう。業界にしてみれば大して「儲からぬ仕事」には付き合ってもらえないということでしょうか。

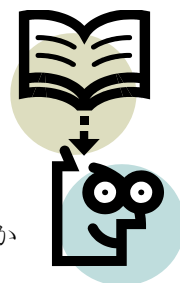
それでも、安倍内閣は「経済最優先」でアベノミクス効果を言いつり自ら陶醉しているようです。

すでに来年10月からと決まっていたはずの消費税2%のアップ(8%→10%)も景気に悪影響があると先延ばしにする雰囲気です。消費税率のアップを前提に、例えば厚労省の2015年度の概算要求は31兆円を超えますが、その中には、超高齢社会に応じて自然増を避けられない社会保障費と子ども子育て

新支援制度等の少子化対策が予算化されていますので、消費税を先延ばしにすると、それだけ、国債という名の借金が増え続けます。そりゃあ、バンバン借金していれば当座は金回りはいいかもしれないけれど。誰がいつ返すの？

しかし、無駄と見える、あるいは将来後悔することになるに違いない新幹線や道路などを含む公共事業や伸び続ける防衛予算をそれぞれ2割カットすれば、社会保障費の問題はとりあえず借金を増やさずともやっていけるはず。それにしても、根本的なパラダイムシフト(枠組みの変換)に取り組まなければ本当に未来は危ない。

若い人へ、君たちがこの「付け」を背負わされることになるのは明らかです。それで、いいのか？この福祉という場で仕事をしている君たちが、大きく目を見開いてこれからの社会のありかたを考えよう。



かうんと5カレンダー2015 発売中



来年のカレンダーは「カオル」さんの絵が素材です。カオルさんの絵は、今年のTシャツでも、バイク図柄が評判でした。

昴とは前身の「青い鳥学園」以来の30数年のお付き合いになりますが、今やケン・カズコンビのマスクマンシリーズと並ぶかうんと5の看板アーティストです。皆さんよろしく。

価格は1部1000円ですが、オンラインショップでご注文いただくと800円(ただし送料別)。

また、日ごろお世話になっている昴の職員の方々には特別価格の800円です。なお、かうんと5の会員はさらにその20%offの640円です。

数に限りがありますので、お早ください。